

平成21年県政10大ニュース

①景気低迷と大規模な景気・雇用対策

- ・三度にわたり補正予算を編成し、大規模な金融対策や公共事業の追加・前倒し執行などを実施 (6、9、12月)
- ・県制度資金新規融資枠を過去最大の800億円に拡充(6月)
- ・基金(ふるさと雇用再生特別基金、緊急雇用創出事業臨時特別基金)を活用し、約3千人の新規雇用を創出
- ・「労働なんでも相談」開設

②新型インフルエンザ大流行

- ・県内で初の感染者確認(6/18)
- ・抗インフルエンザウイルス薬備蓄の前倒し(6月)
- ・県内で学級閉鎖、学年閉鎖、学校の休業相次ぐ(9~11月)
- ・新型インフルエンザワクチンの接種開始(10/19~)

③農業生産拡大へ — 農業産出額が18年ぶりに2年連続プラスへ

- ・戦略品目生産基盤の拡大
 - 〔こねぎ〕パッケージセンターを活用した面積拡大が進む(リース団地6haを整備中)
 - 〔白ねぎ〕夏ねぎを中心に作付面積が拡大(H20 526ha → H21 543ha)
 - 〔きく〕のれん分けで面積拡大が進む(3ha)
 - 〔豊後牛〕肥育牛の飼養頭数が増加(H20 11,800頭 → H21 12,800頭)
- ・企業参入進む
 - ハマノ果香園農園(カボス等22ha)生産開始(4月上旬)
 - 大分サンヨーフーズ農園(ゆず15ha)生産開始(5月上旬)
 - ヨコオ第2農場参入協定締結(肉用鶏232万羽年間出荷)(9/14)
 - JR九州グループ参入協定締結(にら3.0ha)(10/29)
 - まるひで参入協定締結(和牛肥育300頭)(11/13)
 - 住友化学グループ参入協定締結(トマト1.0ha)(12/7)

④新たな段階に入った産業集積

- ・新日本製鐵(株)大分製鐵所の第一高炉が再稼働 — 世界最大のツイン高炉体制に(8/2)
- ・東芝、NEC、東海ゴムが製造拠点を大分県に集約化
- ・旭化成メディカルが大分市に白血球除去フィルターなどの3工場建設
- ・(株)ジェイデバイスが誕生 — 後工程分野で世界第5位を目指す(10/31)
- ・佐伯市宇目町の廃校にIT企業2社が立地(11/2)
- ・九州唯一「地域中核産学官連携拠点」の採択 — おおいたイノベーション創出拠点整備計画(6/12)

⑤大分「手づくり」選手などの大活躍 — スポーツ・文化に若い力

- ・スポーツ
 - 〔東九州龍谷高校バレー部〕全国高校選抜・インターハイ・国体 3冠達成、全日本選手権ベスト4
 - 〔大分雄城台高校 川述 優〕「トキめき新潟国体」陸上競技少年少女共通やり投げ 優勝
 - 〔明豊高校野球部〕夏の全国高等学校野球大会 ベスト8
 - 〔日田高校 赤尾知美〕アジアジュニア選手権大会ボート競技 優勝
 - 〔大分南高校 大野ひかる〕第6回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会 優勝
 - 〔日本文理大 栗本紗弥〕第21回夏季デフリンピック(台北2009)空手競技 金メダル
 - 〔車椅子バスケットボールチーム〕第9回全国障害者スポーツ大会「トキめき新潟大会」団体競技 20年ぶりの銀メダル
 - 〔松尾光代〕「トキめき新潟大会」水泳競技 金メダル
- ・文化
 - 〔竹田中学校 広瀬 岳〕第31回少年の主張全国大会 内閣総理大臣賞(最優秀賞)
 - 〔佐伯鶴城高校 高木康祐〕第45回記念全国学生書道展 文部科学大臣賞(最優秀賞)
 - 〔大分高校書道部〕第14回全日本高校・大学生書道展 高等学校の部 最優秀校(通算9回目)
 - 〔大分商業高校商業調査部〕第17回全国高等学校生徒商業研究発表大会 文部科学大臣賞及び最優秀賞

〔別府鶴見丘高校定時制 矢野英子〕第57回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
文部科学大臣賞(最優秀)

- ・プロ野球ドラフト会議で県出身選手4人が指名
〔今宮健太(明豊高校)〕ソフトバンク1位 〔古川秀一(日本文理大)〕オリックス1位
〔岩尾利弘(別府大)〕西武3位 〔小野淳平(日本文理大)〕巨人5位
- ・「手づくり」選手の活躍で「トキめき新潟国体」天皇杯順位14位を獲得

⑥地球温暖化対策に大分県独自モデル

- ・レジ袋無料配布中止を開始 ― 初日のマイバッグ持参率は82.5%(6/1~)
- ・県庁舎や公立学校等で“緑のカーテン”設置(6~9月)
- ・ストップ地球温暖化大分県ノーマイカーデー実施(6、9、12、3月)
- ・「大分県次世代エネルギーパーク構想」が国の認定(8/5)
- ・県庁に「地球環境対策課」を新設(4/1)

⑦学校再編と教育再生

- ・「中津東高校」が開校 ― 中津商業高校と中津工業高校を発展的に統合(4/1)
- ・県立宇佐養護学校中津校小学部が開設(4/1)
- ・県下初のフレックスハイスクールの開設準備進む ― 校名「爽風館高校」に決定(7/1)
- ・民間人校長(2名)の採用決定(8/27)
- ・新しい教職員人事評価制度の試行導入(10/1)

⑧県出資法人に経営危機

- ・(株)九州乳業が経営陣を刷新、新たなスタートを切る(6/25)
- ・(株)ハーモニーランドが(株)サンリオエンターテイメントに事業引継(7/1)
- ・大分ホーバーフェリー(株)が民事再生法適用申請(9/30)、ホーバーフェリーの運航終了(10/31)
- ・大分トリニータJ2に降格決定(10/24)、Jリーグから緊急融資決定(11/17)

⑨地上デジタル放送完全移行まで600日を切る ― 情報通信基盤の整備促進

- ・地上デジタル放送の県内カバー率が約90%に(11/16)
- ・ケーブルテレビなど自治体情報通信基盤の整備進む
九重町ここのえケーブルテレビ開局(4/1)
豊後大野市でケーブルテレビの整備開始(12月)
宇佐市、由布市で光ファイバー通信網の整備開始(12月)
- ・総務省「大分県テレビ受信者支援センター(デジサポ大分)」を設置(2/2)
- ・携帯電話世帯カバー率が99.0%に[21年榊末]

⑩「大分県中期行財政運営ビジョン」を策定 ― “子育て満足度日本一”を目指して

- ・「大分県中期行財政運営ビジョン」を策定(3/23)
- ・「新おおいた子ども・子育て応援プラン(仮称)」策定に着手(4月)
- ・「くらしにぬくもり小規模集落応援事業」をスタート ― 「小規模集落応援隊」の募集・活動開始(5月)
- ・県立美術館構想の検討に着手(6月)

(別 枠)

- 交通事故死亡者数が過去最低で推移(12/27現在 51人(昨年比△26人)、昭和28年の56人が過去最低)
- 刑法犯認知件数が2年連続して1万件を割る(前年は31年ぶりに1万件以下)
- 中山忠彦氏が日展理事長に就任(3/25)、岩澤重夫氏が文化功労者(11/3)
- 東九州自動車道、中津日田道路等の整備進む
- 県内各地でご当地グルメ売り出される(きつきサンド(杵築市)、由布院ジビエ(由布市)、佐伯ごまだし(佐伯市)、やすらぎ定食(豊後大野市)、日田どん鍋(日田市)、ねぎ焼き(宇佐市))
- 大分県防災航空隊員の死亡事故発生(5/1)
- 県職員、教職員の不祥事発生